

# 2022年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年12月14日

上場会社名 株式会社バリューゴルフ 上場取引所 コード番号

URL https://corp.valuegolf.co.jp/ (氏名) 水口 通夫 代 表 者 (役職名) 代表取締役社長

(TEL) 03-6435-1535 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部部長 (氏名) 渡辺 和昭

四半期報告書提出予定日 2021年12月14日 配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 :有 : 無 四半期決算説明会開催の有無

3931

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年1月期第3四半期の連結業績(2021年2月1日~2021年10月31日)

## (1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	5	営業利	益	経常利	益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第3四半期	3, 446	3.6	170	271.8	159	217. 2	94	-
2021年1月期第3四半期	3, 326	△20.6	45	244. 6	50	828. 4	△7	_
(注) 与托利士 0000万 4 日		0.4	<b>= - - - - -</b>	0/\ 000	1/2 1 0 40/55 /	2 mm 1/ #0	^ 7 <del>_</del>	Π/

(注) 包括利益 2022年 1 月期第 3 四半期 94百万円( -%) 2021年 1 月期第 3 四半期 **-%**) △7百万円(

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円銭
2022年1月期第3四半期	52. 33	-
2021年1月期第3四半期	△4. 10	_

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、2021年1月期第3四半期は1株当たり四半期純損失であるため、2022年1月期第3四半期は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

( = /							
	総資産	純資産	自己資本比率				
	百万円	百万円	%				
2022年1月期第3四半期	2, 540	1, 084	42. 6				
2021年1月期	2, 076	1, 000	48. 1				
(参考) 自己資本 2022年 1	月期第3四半期 1,08	32百万円 202	1年1月期 998百				

### 2. 配当の状況

		年間配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計				
	円銭	円銭	円 銭	円 銭	円 銭				
2021年1月期	_	0.00	_	10.00	10.00				
2022年1月期	_	0.00	_						
2022年1月期(予想)				20. 00	20. 00				

<sup>(</sup>注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

# 3. 2022年1月期の連結業績予想(2021年2月1日~2022年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	5	営業利	益	経常利	益	親会社株主 する当期約	に帰属 神利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4, 700	5. 1	220	140. 2	200	101. 7	130	_	71. 94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

### (4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年1月期3Q	1, 807, 000株	2021年1月期	1, 792, 700株
2022年1月期3Q	191株	2021年1月期	191株
2022年1月期3Q	1, 803, 805株	2021年1月期3Q	1, 792, 514株

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

# ○添付資料の目次

1.当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年2月1日~2021年10月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、COVID-19)の感染拡大の影響から依然として厳しい状況にあります。国内ではCOVID-19のワクチン接種が普及し、収束に向けた期待感から大手企業を中心に企業心理の改善が見られるものの、個人消費は依然として停滞感の強い状況で推移いたしました。海外におきましても、COVID-19のワクチン接種の進展に伴い、活動制限が緩和されつつありますが、米中間における貿易摩擦の激化や中東情勢の混乱などをはじめとした不安定な政治動向だけでなく、原油価格の高騰や世界的な半導体不足など、国内経済への影響は不透明な状況のまま推移しております。

ゴルフ事業を取り巻く環境におきましては、COVID-19の感染拡大に伴い、大人数を集客するイベント企画やコンペ等の団体客の予約は減少しているものの、個人を中心とした少人数での利用は増加傾向となり、ゴルフ場利用者数の前年同月比は7月15.5%増、8月10.8%減、9月5.4%増と推移いたしました。(経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」)。ゴルフは「3密」を避けやすいスポーツであるという面も注目され、国内外で若年ゴルファーが増加している傾向にあります。また、新しい生活様式に適応したプレースタイルも浸透し、ゴルフの楽しみ方も多様になり、時代に合わせた進化をしております。

トラベル事業を取り巻く環境におきましては、COVID-19感染拡大防止策の一環として、一部を除いて国境を跨ぐ往来が停止されており、観光目的の入国は引き続き認められない状況が続いております。訪日外客数は8月が25,900人(2019年同月比99.0%減)、9月が17,700人(2019年同月比97.0%減)となり、低水準で推移しております。また、出国日本人数も8月が66,051人(2019年同月比96.9%減)、9月が52,400人(2019年同月比97.0%減)と激減し、世界的に旅行需要が停滞している状態にあります(日本政府観光局「JNTO」)。一方、国内においては夏場の感染拡大を受けて継続されていた緊急事態宣言・まん延等防止措置が9月末に全国的に解除され、10月以降はwithコロナ(段階的な日常への回復)への転換が進み、旅行需要の緩やかな回復の兆しが見え始めました。

このような環境の下、当社グループは『1人予約ランド』を核にしたゴルフ事業の更なる拡大を推進し、トラベル事業の需要の停滞を凌駕し、その他事業を含めグループ全体において前年を上回る業績を確保する為、企業価値の向上に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,446,618千円(前年同期比3.6%増)、営業利益170,031千円(前年同期比271.8%増)、経常利益159,540千円(前年同期比217.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益94,384千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失7,342千円)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

### (ゴルフ事業)

ゴルフ事業におきましては、『1人予約ランド』を中心とするASPサービスが引き続き好調を維持し、登録会員数も堅調に推移しました。2021年10月31日時点では81.9万人(前年同期比14.9%増)と増加を続けております。同サービスの業界でのシェアをさらに拡大するため、契約コース数の増加とプレー枠の確保に注力しました。

広告・プロモーションサービスにおいては、ポータルサイト『VALUE GOLF WEB』へのアクセス数が前年比110% 超の水準で推移しており、『1人予約ランド』をはじめ、『月刊バリューゴルフ』『バリューゴルフレッスン』といった各サービスにおける集客効果が強化されております。『月刊バリューゴルフ』は掲載コース数が引き続き増加傾向にある他、『バリューゴルフレッスン』(ゴルフ場にて開催するオンコースレッスン)においては、開催会場の新規開拓や新規講師との契約数増加に努めました。

ECサービスにおいては、インターネット通販サイトの利便性向上のため全面リニューアルを行いました。サイトリニューアル効果もあり、インターネット通販は引き続き好調を維持しております。また、多くの会社が通常業務に戻したこともあり、実店舗においても緊急事態宣言下と比べ来客数が回復傾向となっております。一方、仕入れにおいては北米ルートからの商品で納期の遅れが続く等、COVID-19の影響は依然続いており、いかに商品を確保できるかが重要となっております。こうした事態に対し、当社グループではジーパーズオリジナルのプライベートブランド商品を拡充した他、従来以上に日本製品の取り扱いを増やすことで対応してまいりました。

バリューゴルフ大崎においては、試打・練習・インドアレッスン・コースレッスン・ショップとバリエーションに富んだゴルフ関連サービスを展開する複合ゴルフ施設としてゴルファーの認知が進み、会員数も堅調に推移しております。複合ゴルフ施設として相乗効果により収益性も向上しており、バリューゴルフ大崎をモデルとした多店舗展開の準備も進めております。

以上の結果、売上高2,908,964千円(前年同期比8.6%増)、営業利益437,648千円(前年同期比19.5%増)となりました。

### (トラベル事業)

トラベル事業におきましては、COVID-19感染拡大防止により海外路線の休航が継続されており、インバウンドの取り込みができず厳しい状況が続いております。しかし国内においては人の移動制限も解除されたこともあり、国内旅行の需要が高まり旅行業界は徐々に回復傾向となりました。そのため、当社グループでも国内企画旅行に注力し、小規模国内ゴルフ旅行、国内パッケージツアーを企画、催行いたしました。また、旅行事業で培ったネットワークを活かした日本全国の特産品の販売も継続しております。さらに、COVID-19収束後の急激な需要回復を見越して、航空券販売の業務フローを大幅に見直すなど、先を見据えた準備を進めました。

以上の結果、売上高516, 165千円(前年同期比16.4%減)、営業損失18, 728千円(前年同期は営業損失84, 833千円) となりました。

#### (その他の事業)

その他の事業セグメントにおきましては、広告メディア制作事業において、ブライダルメディア広告のクライアントである結婚式場等の収益が回復傾向となっております。しかし、式の規模を縮小するなどの影響からも、広告に投資できるまでの回復とはなっておらず、厳しい状況が続いております。一方、求人メディア広告と旅行媒体への記事出稿については企業の業績回復の影響などから予測よりも上向きました。また、利益確保のため、継続したリストラクチャリングを実施し筋肉質な経営体質を維持いたしました。

以上の結果、売上高25,596千円(前年同期比15.7%減)、営業利益4,670千円(前年同期比1,148.9%増)となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して463,151千円増加し、2,540,122千円となりました。これは主に現金及び預金の増加202,096千円、商品の増加210,800千円及び旅行前払金の増加46,244千円によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して379,112千円増加し、1,455,474千円となりました。これは主に買掛金の増加64,236千円、短期借入金の増加259,090千円及び旅行前受金の増加37,266千円によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して84,039千円増加し、1,084,647千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益94,384千円の計上及び配当金の支払17,925千円による利益剰余金の増加76,460千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2022年1月期の通期連結業績予想を精査した結果、2021年3月12日に公表した「2022年1月期 決算短信」の通期連結業績予想及び配当予想を変更しております。詳細につきましては、本日(2021年12月14日)公表いたしました「2022年1月期 通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

# 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

# (1) 四半期連結貸借対照表

	前連結会計年度	(単位:千円) 当第3四半期連結会計期間
資産の部	(2021年1月31日)	(2021年10月31日)
流動資産		
現金及び預金	978, 711	1, 180, 807
売掛金	280, 061	282, 360
商品	502, 719	713, 519
旅行前払金	26, 998	713, 31
その他	41, 140	77, 66
貸倒引当金	41, 140 △5	77,00° △
流動資産合計	1, 829, 626	2, 327, 59
固定資産	1, 023, 020	2,021,00
有形固定資産	42, 652	41, 64
無形固定資産	42,002	11,01
のれん	17, 254	
その他	9, 113	17, 22
無形固定資産合計	26, 368	17, 22
投資その他の資産	20, 000	11, 22
その他	189, 762	163, 16
貸倒引当金	△11, 439	$\triangle 9,51$
投資その他の資産合計	178, 323	153, 65
固定資産合計	247, 344	212, 52
資産合計	2, 076, 970	2, 540, 12
負債の部	2, 010, 310	2,040,12
流動負債		
買掛金	191, 691	255, 92
未払法人税等	10, 403	50, 29
短期借入金	390, 910	650, 00
1年内返済予定の長期借入金	86, 330	57, 60
旅行前受金	45, 036	82, 30
引当金	9, 804	11, 36
その他	152, 404	123, 41
流動負債合計	886, 579	1, 230, 91
固定負債		1, 250, 31
長期借入金	159, 086	196, 89
資産除去債務	30, 696	27, 66
固定負債合計	189, 782	224, 56
負債合計	1,076,362	1, 455, 47
・	1,070,302	1, 400, 47
株主資本		
資本金	378, 753	382, 32
資本剰余金	371, 244	374, 81
利益剰余金	248, 343	324, 80
自己株式	∆338	∆33
株主資本合計	998, 004	1, 081, 61
株主員本口司 その他の包括利益累計額	990,004	1,001,01
その他の包括利益系計額 その他有価証券評価差額金	204	63
その他有価証券計価差額金その他の包括利益累計額合計	204	63
新株予約権	2, 400	2, 40
純資産合計	1, 000, 608	1, 084, 64

# (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

37 0 C   791 C M 37 H 791 H 3		
	前第3四半期連結累計期間	(単位:千円) 当第3四半期連結累計期間
	(自 2020年2月1日	(自 2021年2月1日
	至 2020年10月31日)	至 2021年10月31日)
売上高	3, 326, 522	3, 446, 618
売上原価	2, 351, 184	2, 314, 925
売上総利益	975, 337	1, 131, 693
販売費及び一般管理費	929, 604	961, 661
営業利益	45, 732	170, 031
営業外収益		
受取利息及び配当金	87	136
賃貸収入	461	461
為替差益	3, 987	_
受取補償金	6, 500	200
その他	321	438
営業外収益合計	11, 358	1, 235
営業外費用		
支払利息	4, 507	4, 241
支払手数料	1,759	1, 777
為替差損	_	5, 159
その他	528	548
営業外費用合計	6, 795	11, 726
経常利益	50, 295	159, 540
特別利益		
事業譲渡益	1,818	_
特別利益合計	1,818	_
税金等調整前四半期純利益	52, 114	159, 540
法人税、住民税及び事業税	19, 520	49, 987
法人税等調整額	39, 935	15, 168
法人税等合計	59, 456	65, 156
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7, 342	94, 384
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失 (△)	△7, 342	94, 384

# 四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間

		(単位:千円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7, 342	94, 384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△265	429
その他の包括利益合計		429
四半期包括利益	△7, 608	94, 814
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7, 608	94, 814

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

#### (セグメント情報等)

#### 【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他合計	調整額	四半期連結 損益計算書	
	ゴルフ事業	トラベル 事業	計	(注) 1	口前	(注) 2	計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	2, 679, 557	617, 031	3, 296, 588	29, 933	3, 326, 522	_	3, 326, 522
セグメント間の内部売上高 又は振替高	207	217	424	432	857	△857	_
計	2, 679, 765	617, 248	3, 297, 013	30, 365	3, 327, 379	△857	3, 326, 522
セグメント利益又は損失(△)	366, 214	△84, 833	281, 381	373	281, 755	△236, 022	45, 732

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告メディア制作事業、メディカル事業を含めております。
  - 2. セグメント利益又は損失の調整額△236,022千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。
- Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1 合計		調整額	四半期連結 損益計算書
	ゴルフ事業	トラベル 事業	計	(注) 1	口削	(注) 2	計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	2, 908, 725	515, 799	3, 424, 525	22, 092	3, 446, 618	_	3, 446, 618
セグメント間の内部売上高 又は振替高	239	365	604	3, 503	4, 107	△4, 107	_
<b>□</b>	2, 908, 964	516, 165	3, 425, 129	25, 596	3, 450, 726	△4, 107	3, 446, 618
セグメント利益又は損失(△)	437, 648	△18, 728	418, 919	4, 670	423, 590	△253, 558	170, 031

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告メディア制作事業、メディカル事業を含めております。
  - 2. セグメント利益又は損失の調整額△253,558千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。